



電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに基づき電気工事を行ってください。

安全上の注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
● ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
● 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
● 注意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

- 修理技術者以外の人による、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
● アースを確実に取り付けること

警告

- メタルスズリ、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付け
● レンジフードファンの壁への埋め込みはしないこと
● レンジフードファンの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラッパなど）と接触しないようにすること
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること

注意

- 取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること
● ファンや部品の取り付けは確実にすること
● 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと

取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
● 調理器具の幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
● レンジフードファン下部には、潮濕器を絶対に取り付けしないでください。
● 電源コード等の各種コード類は、吊るなどして、レンジフードファン本体や排気ダクト等に接触しないようにしてください。

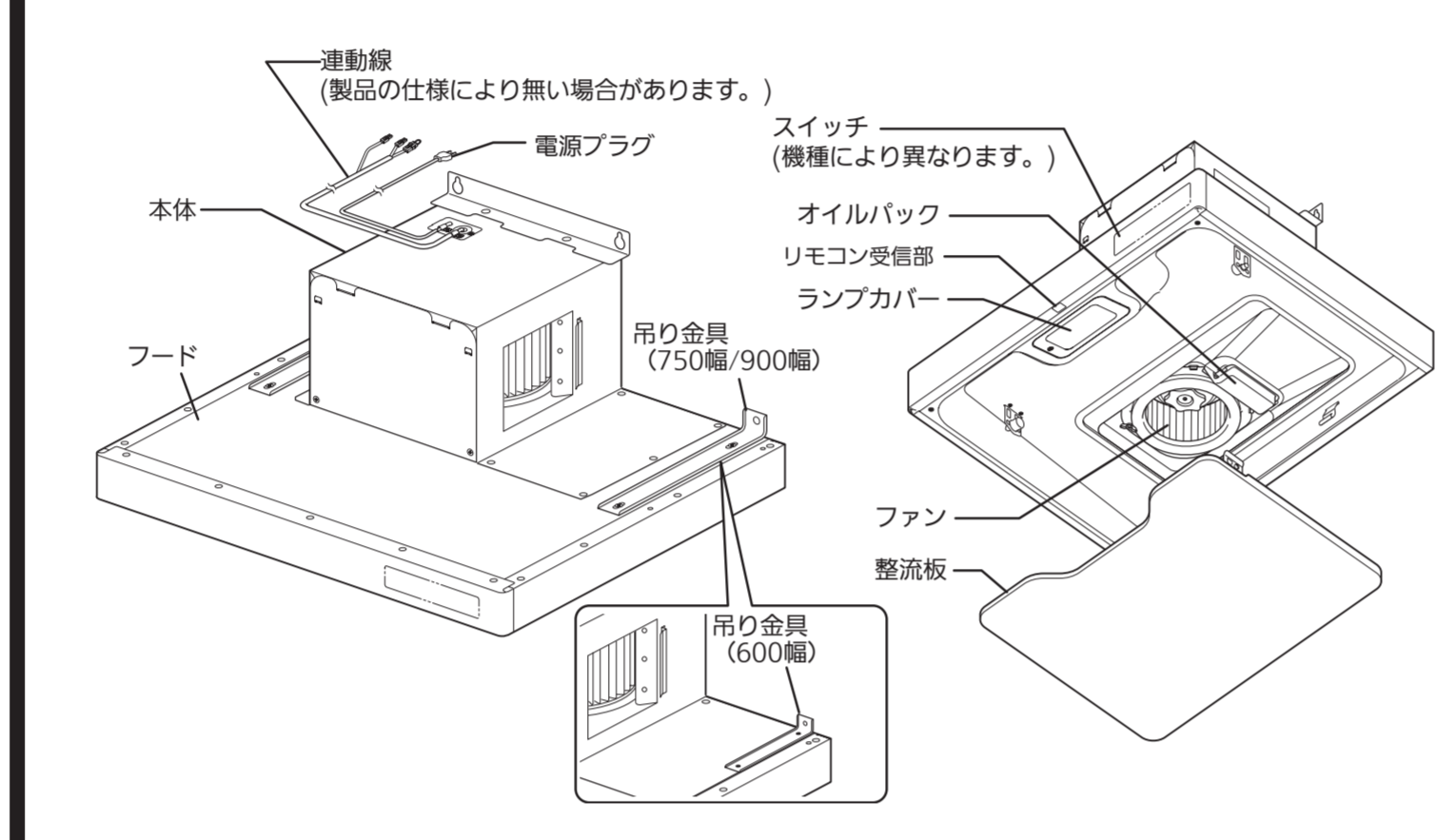
取り付け前の調査と準備

- レンジフードファン本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強板等に確実にすること
● 板張りの場合
● コンクリート、タイル壁の場合
● 土壁の場合

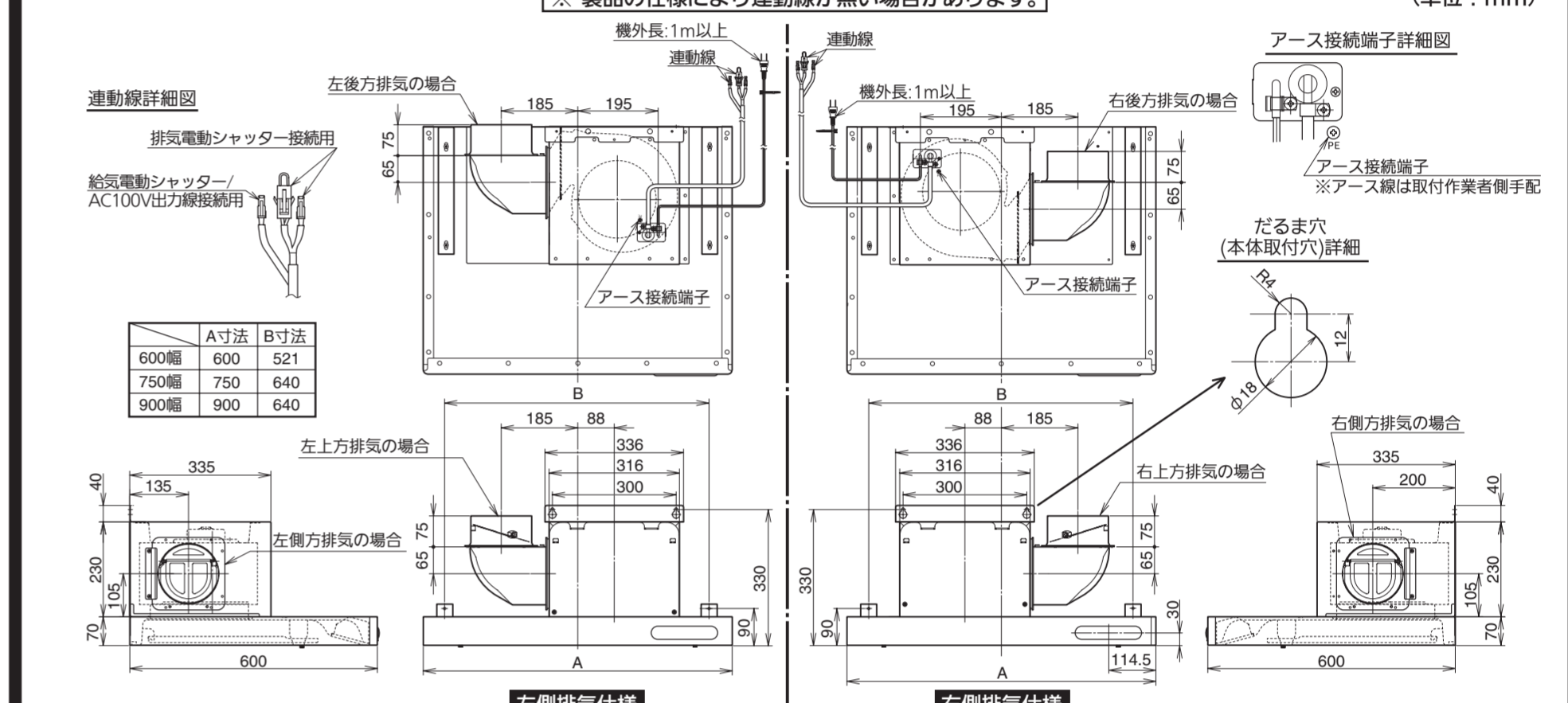
付属品

- 座付ねじ (φ5.1×45) 4本
● 段付ねじ (M4×12) 4本
● ソフトテープ 1本
● 排気口 1個
● L形ダクト 1個

各部の名称



製品寸法図



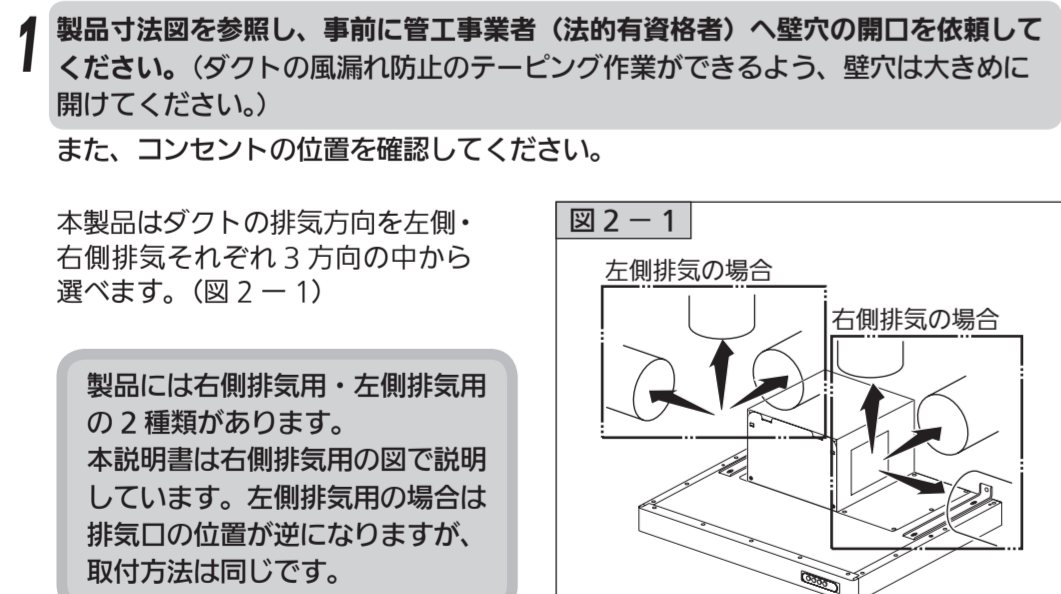
取り付けかた

1. 付属品の確認

- 製品取扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
● 保護用のクッション材と固定テープは「6. 取扱説明書およびオイルパック」固定テープの取りははずし」までははずさないでください。

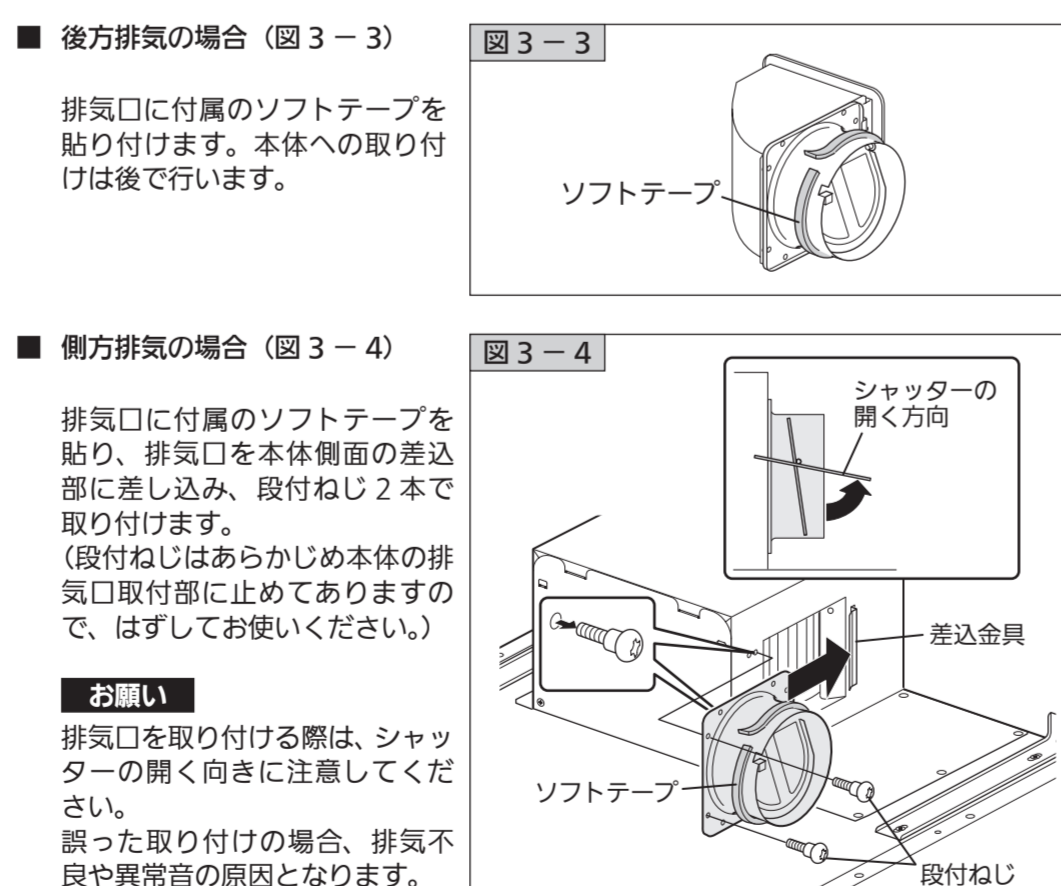
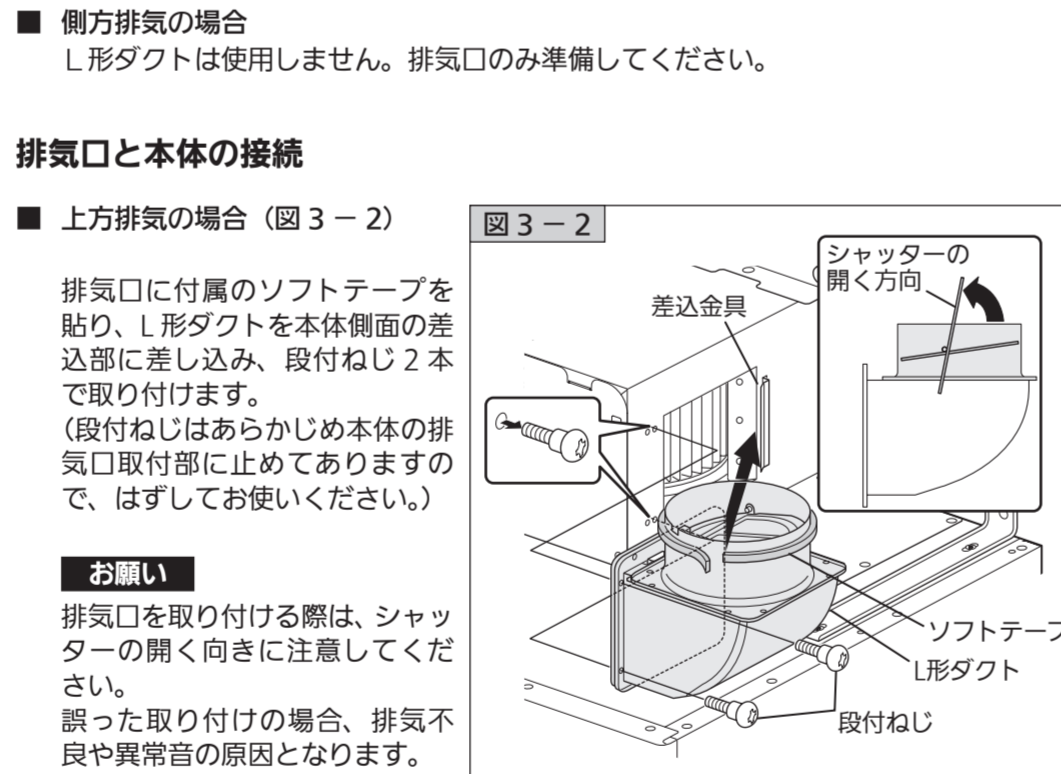
2. 排気方向の決定

- メタルスズリ、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付け
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと



3. 排気用部品の準備

- 排気口とL形ダクトの接続
● 上方排気の場合
● 後方排気の場合
● 側方排気の場合

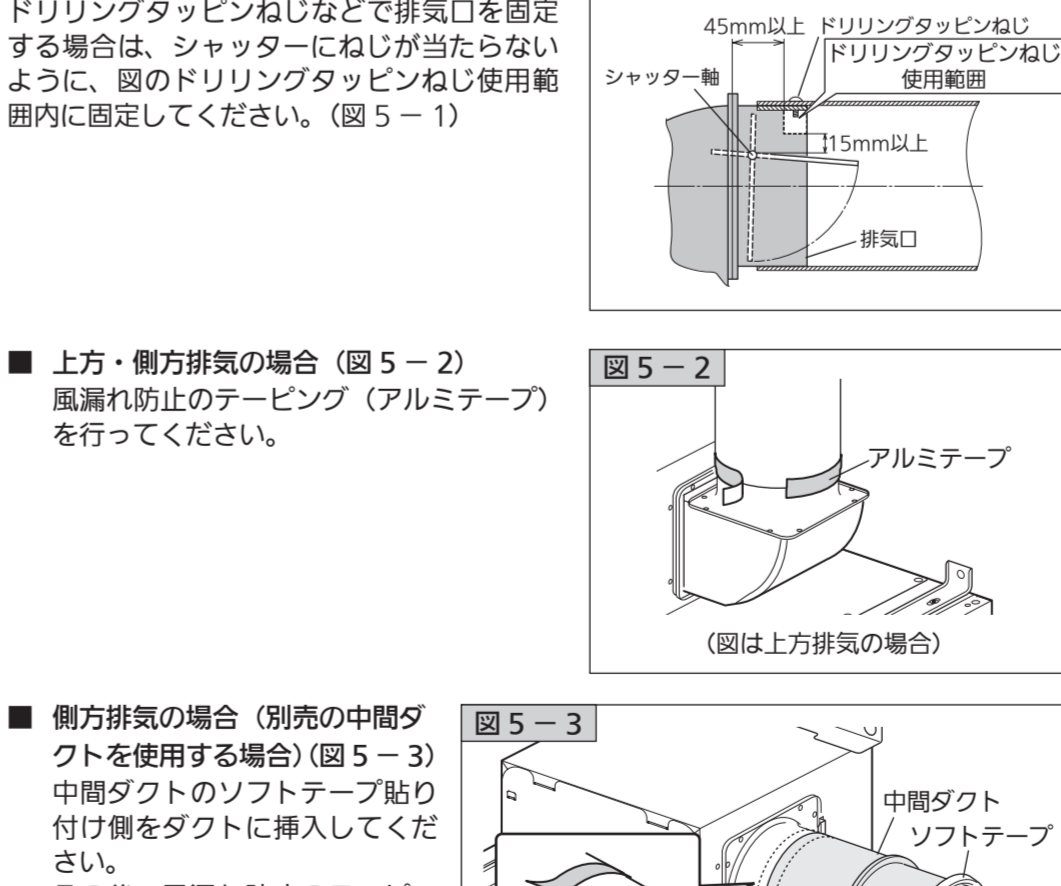
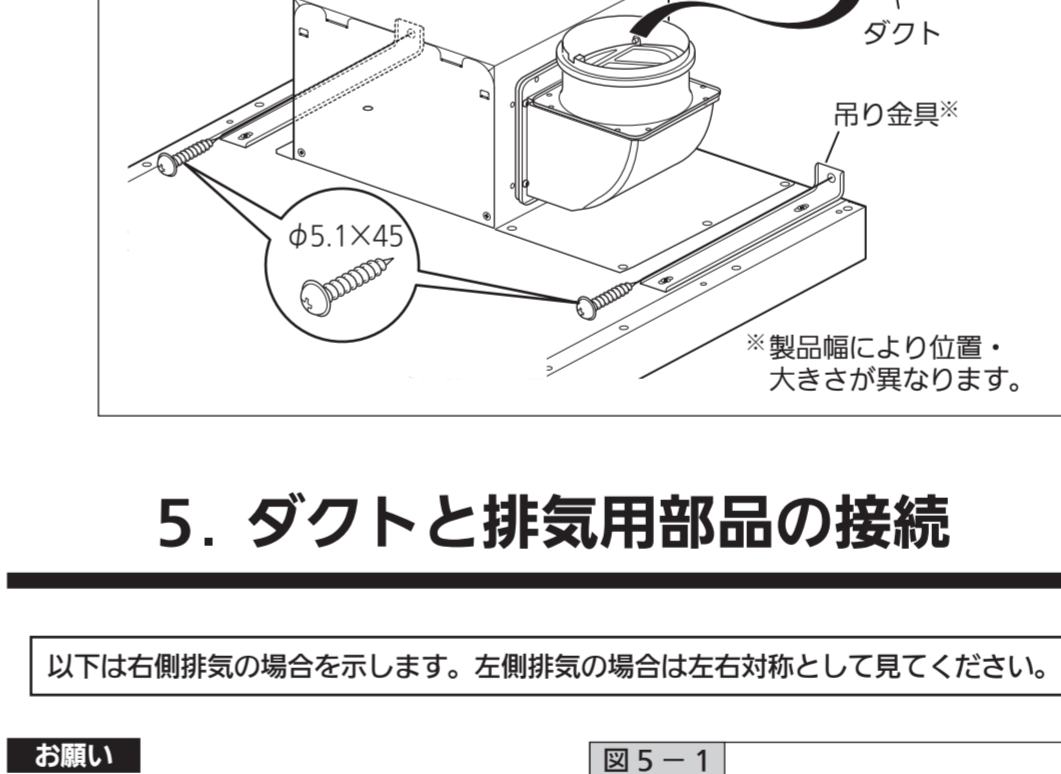


4. 本体の取り付け

- 本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 部品を取り付けは確実にすること

5. ダクトと排気用部品の接続

- 排気口とダクトの接続
● 上方・側方排気の場合
● 側方排気の場合



6. 取扱説明書およびオイルパック 固定テープの取りはずし

- 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。
● 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルパックを固定しているテープをはがします。

7. 電気配線

- 修理技術者以外の人による、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと

8. 試運転

- 運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと
● 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
● 運転時、各連動の排気が正しく行われていることを確認してください。

9. お客様への説明

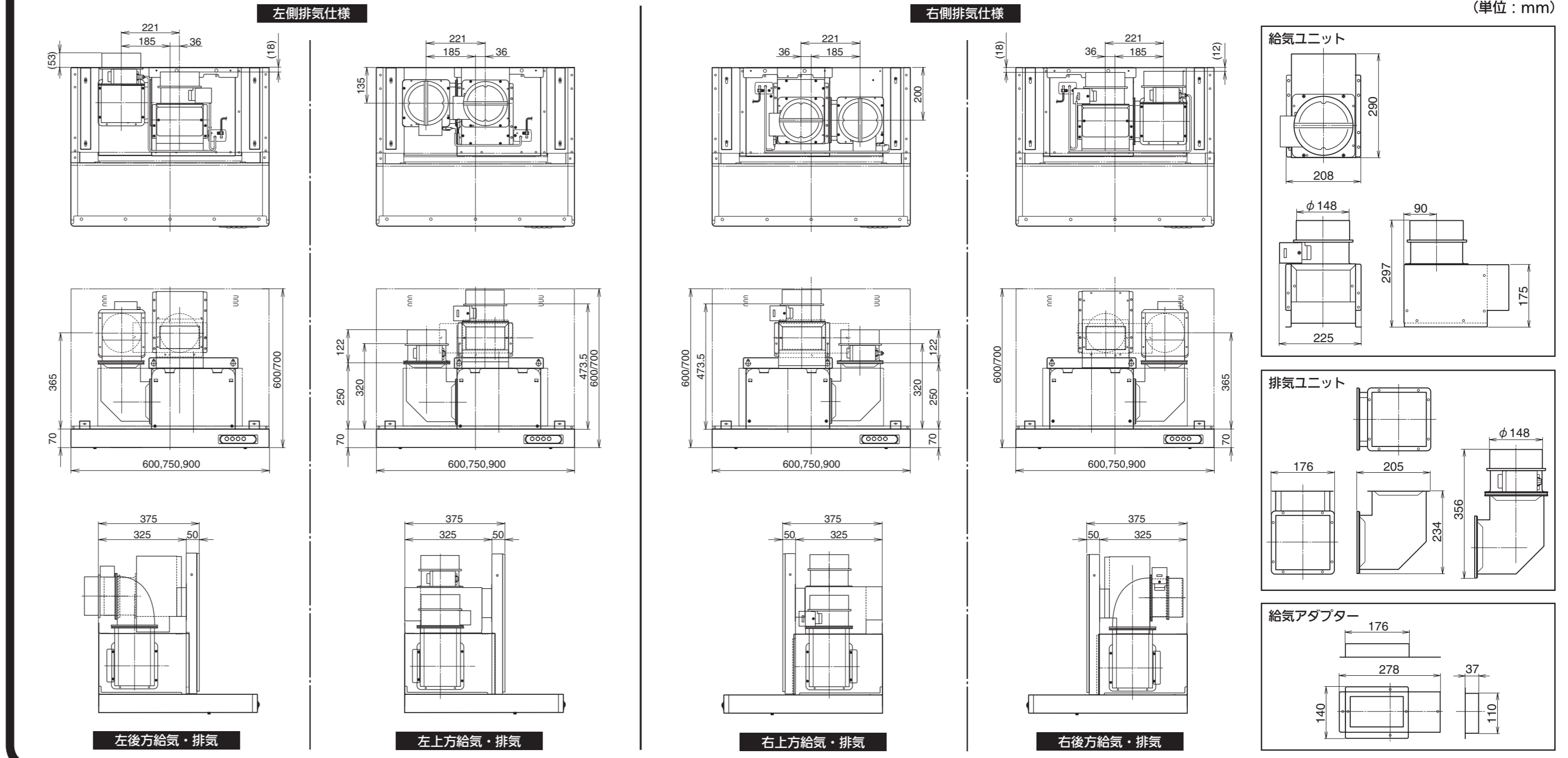
- 取扱説明書によって機器の取り扱い説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。
【製造元】 FUJIOH 富士工業株式会社
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号
TEL 042(768)3754 (営業部)

この製品は、電動シャッターを装備した同時給排ユニットです。取り付けの前に、この取付説明書と、レンジフードの取付説明書を合わせてお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。  
 「安全上のご注意」「取り付け前の調査と準備」「取り付け上のお願い」などはレンジフードの取付説明書と同様の内容で取り付けをおこなってください。

## 部品構成

- 取付ねじ(M4×8) 【16本】**  
給気・排気部品の接続に使います。
- 木ねじ(φ4.1×16) 【2本】**  
給気幕板本体の固定に使います。
- 給気チャンパー 【1個】**  
給気電動シャッター付です。本体上部に取り付けます。
- 排気チャンパー 【1個】**  
排気口(電動シャッター)を取り付け、フード本体とダクトの接続に使います。
- 給気アダプター 【1個】**  
給気幕板本体と給気チャンパーの接続に使います。
- 排気口(電動シャッター) 【1個】**  
排気チャンパーに取り付け、フード本体との接続に使います。
- ソフトテープ 【2本】**  
電動シャッター(給気用・排気用)に巻いてダクトの隙間をふさぐために使います。
- 給気幕板 【1個】**  
給気チャンパーとの接続に使います。

## 製品寸法図



## 取り付けかた

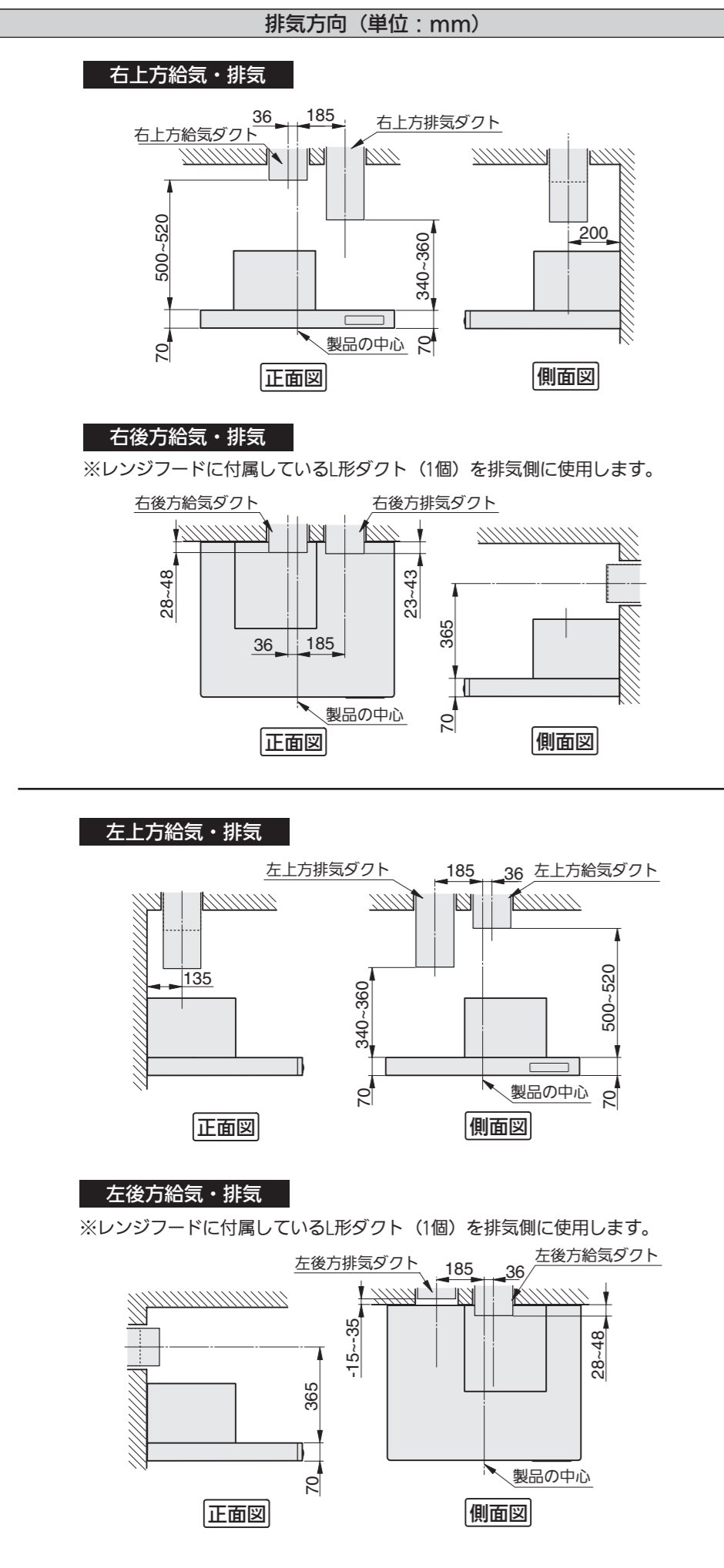
### 1. レンジフード本体の準備

製品に同梱されている取付説明書をお読みください。

### 2. 給気・排気ダクトの準備

- 製品寸法図を参照し、事前に工芸業者(法的有資格者)へ壁穴の開口を依頼してください。(ダクトの風漏れ防止のテーピング作業ができるよう、壁穴は大きめに開けてください。)
- φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトをレンジフードの上部に突き出すようにセットして周囲を仕上げてください。(コンクリート、タイル、土壁の場合)

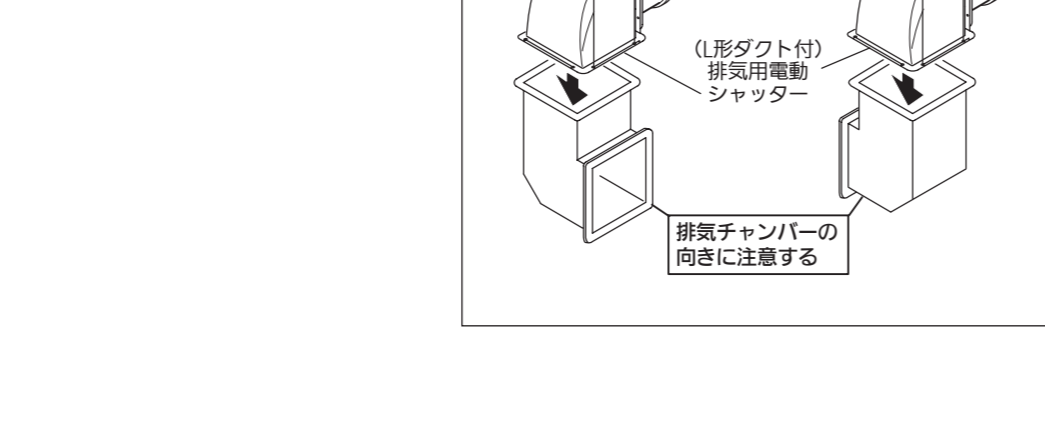
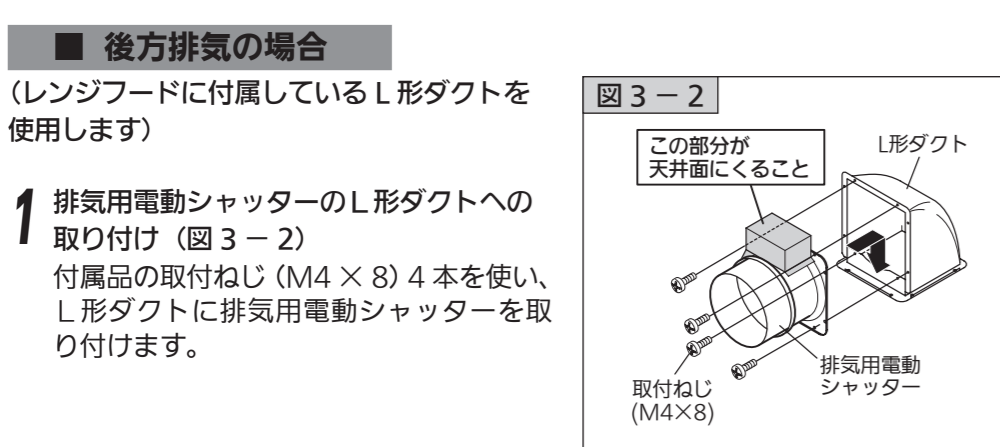
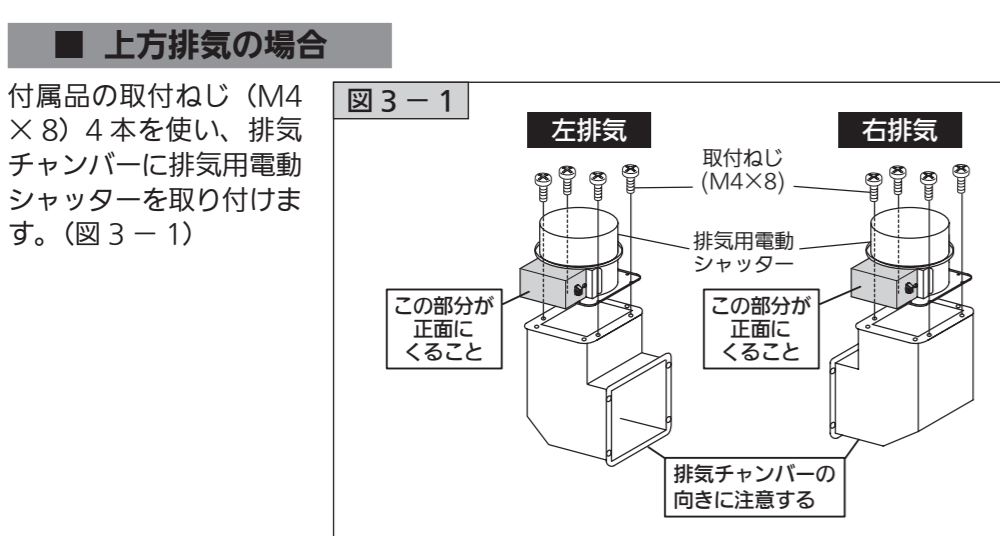
**お願い**  
結露防止の為、給気ダクト側にも断熱材を巻くなどの対応をしてください。



### 3. 排気用部品の準備

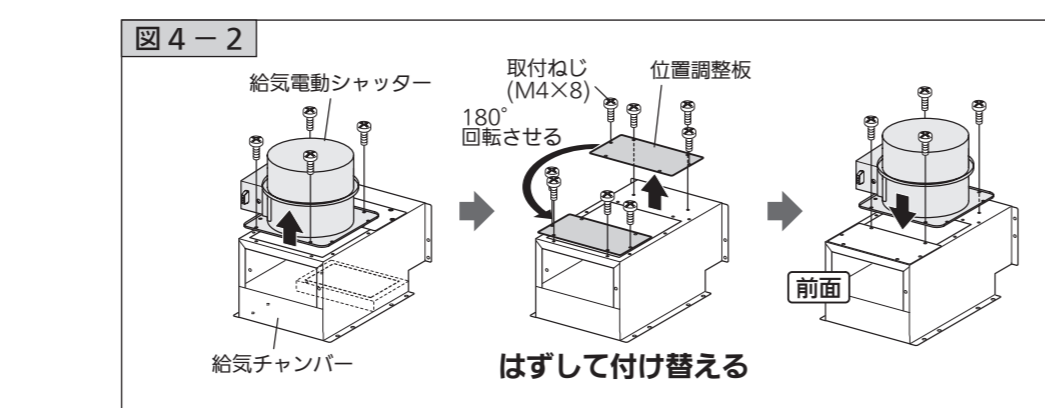
電動シャッター(排気用)と排気チャンパーを接続します。付属品の電動シャッター(排気用)・排気チャンパーを準備してください。

**お願い**  
手でシャッターを開閉すると故障の原因になりますので、お止めください。



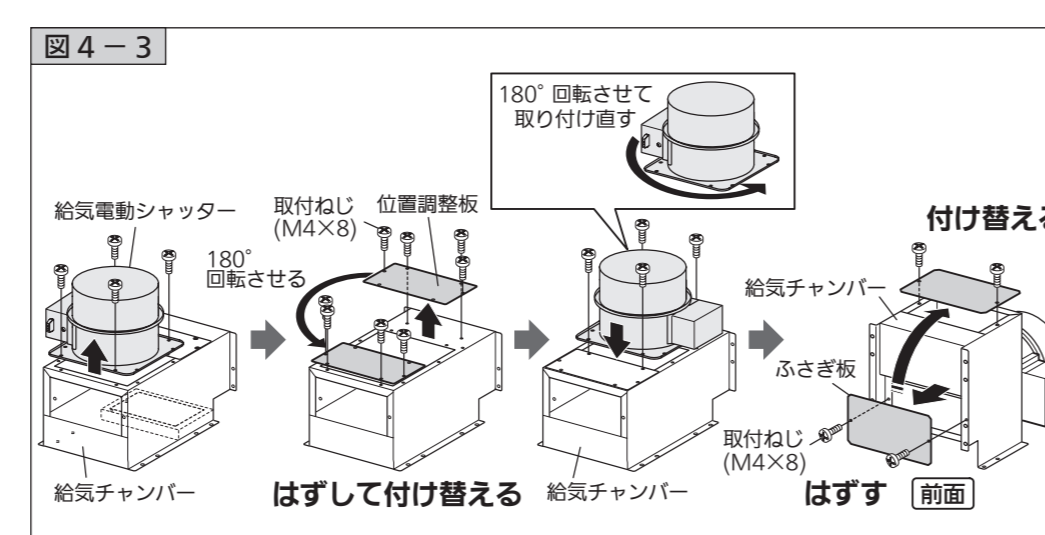
### 4. 給気用部品の準備

- 上方給気の場合**
- 右給気・排気タイプのレンジフードへ取り付けの場合(図4-1)  
付属品の給気チャンパーをそのまま使います。
- 左給気・排気タイプのレンジフードへ取り付けの場合(図4-2)  
給気電動シャッターの位置を以下の手順で変更します。
  - 給気電動シャッターを固定している取付ねじ(M4×8)4本をはずします。
  - 位置調整板を固定している取付ねじ(M4×8)4本をはずし、位置調整板を図のように付け替えます。
  - 給気電動シャッターを180度回転させ、はずした取付ねじ(M4×8)4本で取り付けます。
  - 付属品の給気チャンパーのふさぎ板を固定している取付ねじ(M4×8)2本をはずし、ふさぎ板を上面部に付け替えます。



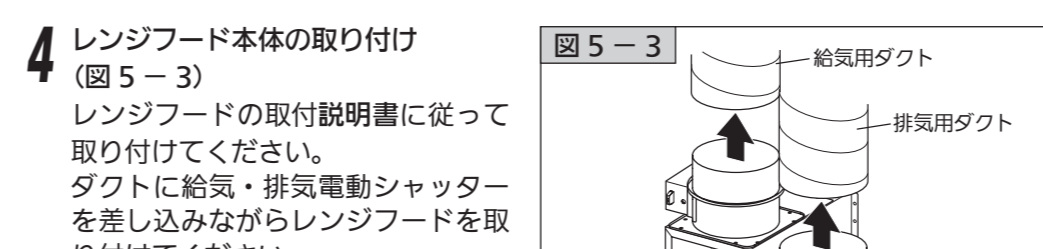
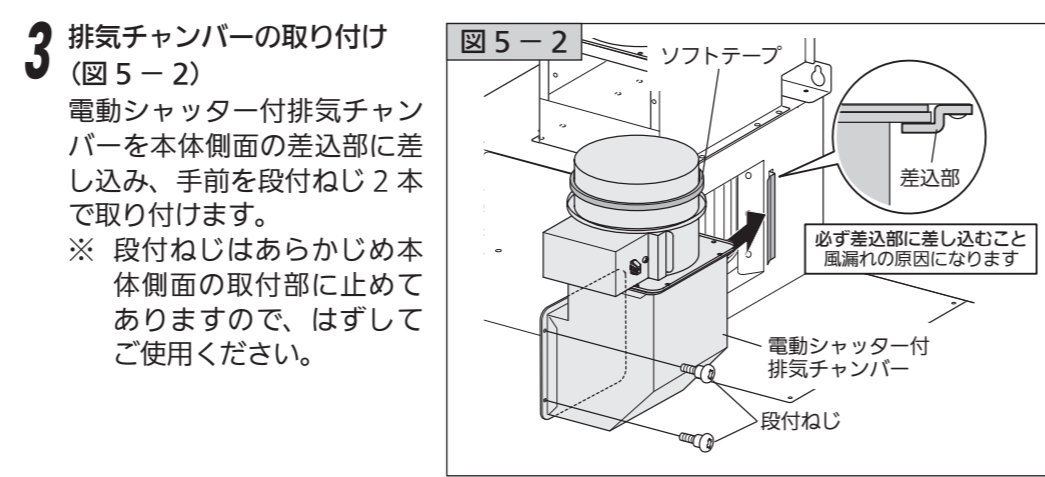
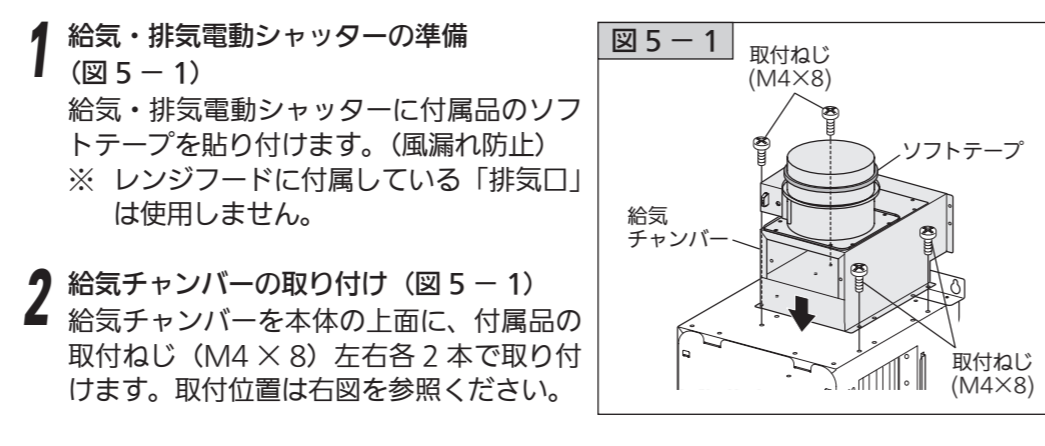
- 下方給気の場合**
- 給気電動シャッターの位置を以下の手順で変更します。(図4-3)

  - 給気電動シャッターを固定している取付ねじ(M4×8)4本をはずします。
  - 位置調整板を固定している取付ねじ(M4×8)4本をはずし、位置調整板を図のように付け替えます。
  - 給気電動シャッターを180度回転させ、はずした取付ねじ(M4×8)4本で取り付けます。
  - 付属品の給気チャンパーのふさぎ板を固定している取付ねじ(M4×8)2本をはずし、ふさぎ板を上面部に付け替えます。



### 5. 給気・排気ユニットの取り付け

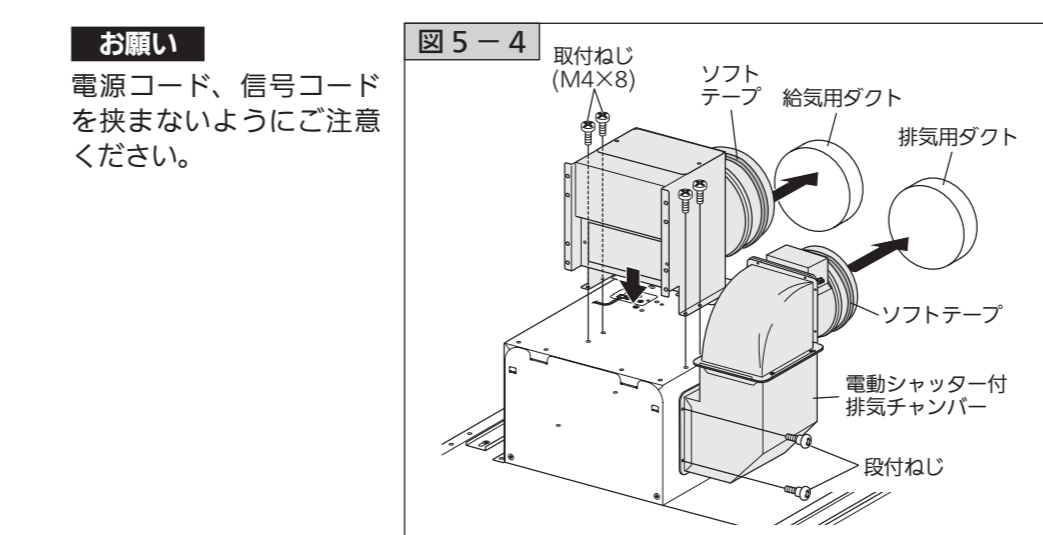
- 上方給気・排気の場合**
- ※ 下図は右給気・排気を示します。(左給気・排気の場合の取り付けは左右対称として見てください。)



- レンジフード本体の取り付け(図5-3)  
レンジフードの取付説明書に従って取り付けください。  
ダクトに給気・排気電動シャッターを差し込みながらレンジフードを取り付けてください。
- お願い**  
電源コード、信号コードを挟まないようにご注意ください。

- 下方給気・排気の場合**
- ※ 下図は右給気・排気を示します。(左給気・排気の場合の取り付けは左右対称として見てください。)

- 給気・排気電動シャッターに付属品のソフトテープを貼り付けます。(図5-4)
- レンジフード本体の取り付け(図5-3)  
レンジフードの取付説明書に従って取り付けください。
- 排気チャンパーの取り付け(図5-4)  
レンジフード本体の取付説明書に従って取り付けください。
- 給気チャンパーの取り付け(図5-4)  
給気チャンパーは「4. 給気用部品の準備」で用意した、ふさぎ板を付替えた物を使用します。  
給気チャンパーをダクトに挿入しながら、付属品の取付ねじ(M4×8)4本で取り付けます。



- 排気口設置面の漏風確認のお願い(図5-5)**  
排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面(フード天面等)が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。  
風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設置面の隙間をアルミテープ等(現場調達品)で漏風防止処置をおこなってください。

### 6. 給気・排気用電動シャッターへの信号線接続

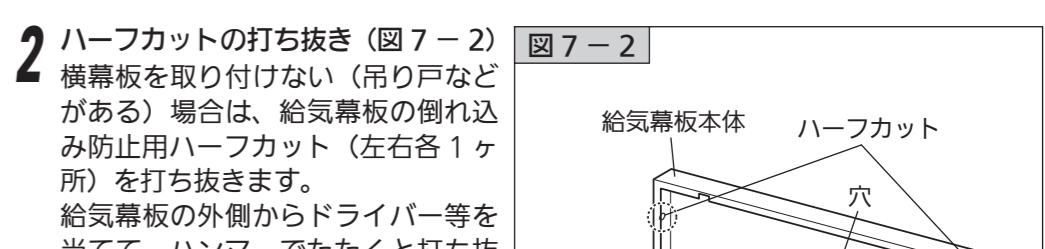
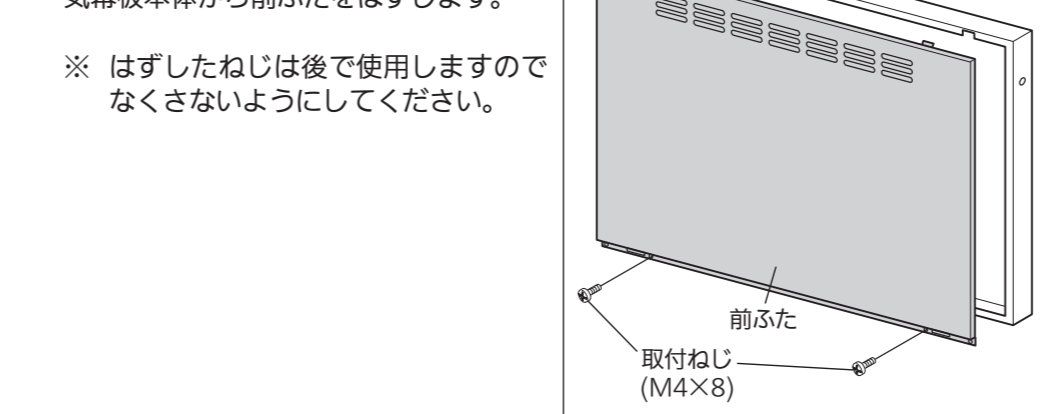
- 給気電動シャッターへのコネクター接続(図6-1)  
給気電動シャッターのコネクター接続部(3Pコネクター)にレンジフード本体の信号線の3Pコネクターを接続します。
- 排気電動シャッターへのコネクター接続(図6-2)  
排気電動シャッターのコネクター接続部(2Pコネクター)にレンジフード本体の信号線の2Pコネクターを接続します。

**お願い**  
コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。



### 7. 給気幕板の準備

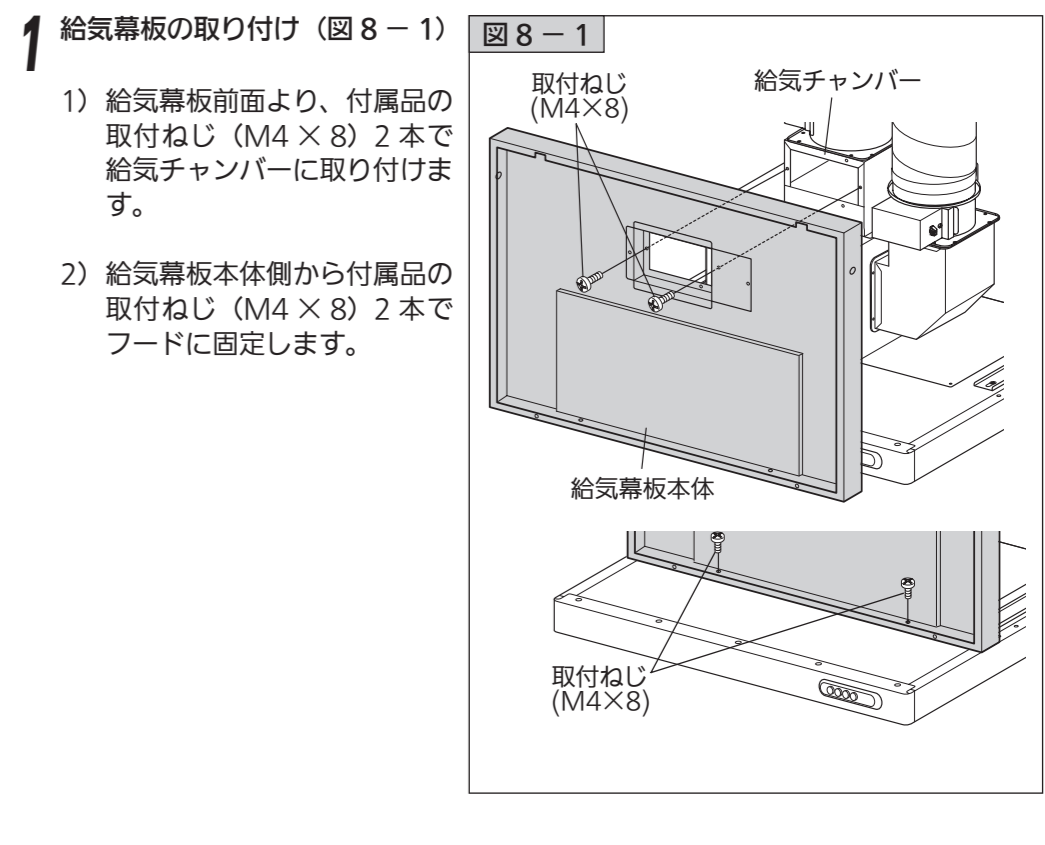
- 給気幕板前ふたの取りはずし(図7-1)  
梱包箱から給気幕板を取り出し、下側の取付ねじ(M4×8)2本をはずして給気幕板本体から前ふたをはずします。  
※ はずしたねじは後で使用しますのでなくさないようにしてください。



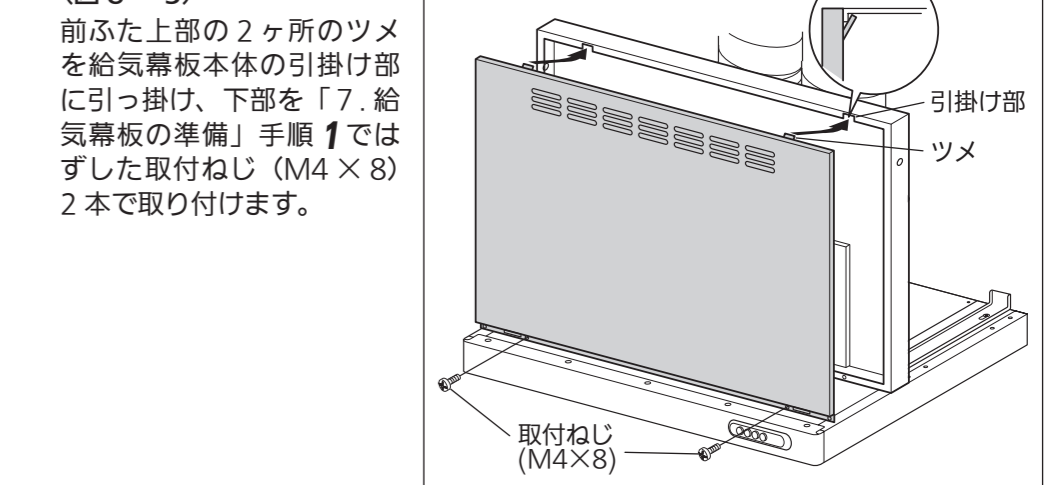
- 給気アダプターの取り付け(図7-2)  
給気方向に合わせて、付属品の給気アダプターを取り付けます。  
**右側給気の場合...**  
アダプターの開口が左になるように左側給気の場合...  
アダプターの開口が右になるように給気幕板本体の開口部に取付ねじ(M4×8)4本で取り付けます。

### 8. 給気幕板の取り付け

- 給気幕板を取り付ける前に、レンジフードの取付説明書に従って電源プラグをコンセントに差し込んでください。



- 給気幕板の吊り戸などへの固定(図8-2)  
※ 横幕板を取り付ける場合はこの作業は不要です。  
「7. 給気幕板の準備」手順2で開けたハーフカット穴を使用し、幕板本体を付属品の木ねじ(φ4.1×16)2本で吊り戸等の側面に固定します。



### 9. レンジフード本体の組み立て

製品に同梱されている取付説明書をお読みください。

### 10. 試運転

- 製品に同梱されている取付説明書をお読みください。
- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
- スイッチの操作、運転状態についてはレンジフードの取付説明書をご覧ください。
- 同時給排ユニットを取り付けた場合、常時換気運転では給気電動シャッターは運動しない(開かない)状態になります。

### 11. お客様への説明

- レンジフードの取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書、取付説明書と共に、本書を必ずお客様へお渡しください。

【製造元】 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社  
 本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号  
 TEL 042(768)3754 (営業部)

# 取付補足説明書

本製品は、付属の「取付説明書」に対して、以下の点が異なります。  
「取付説明書」と併せて、この「取付補足説明書」をお読みください。

## ■ 取り付け前の調査と準備

本製品は、本体前側を天井から吊れる構造となっております。

吊りボルトの設置を次の通り行ってください。  
2本の吊りボルトを製品寸法図を参照して天井部梁に取り付けます。  
\*吊りボルトはM10（市販品）を使用して下さい。  
\*吊りボルトは耐荷重200kg/本となるように取り付けてください。

電源用として2極接地極付差込プラグを採用している場合、コンセントは  
JIS C8303 2極接地極付差込接続器をご使用ください。



## ■ 付属品

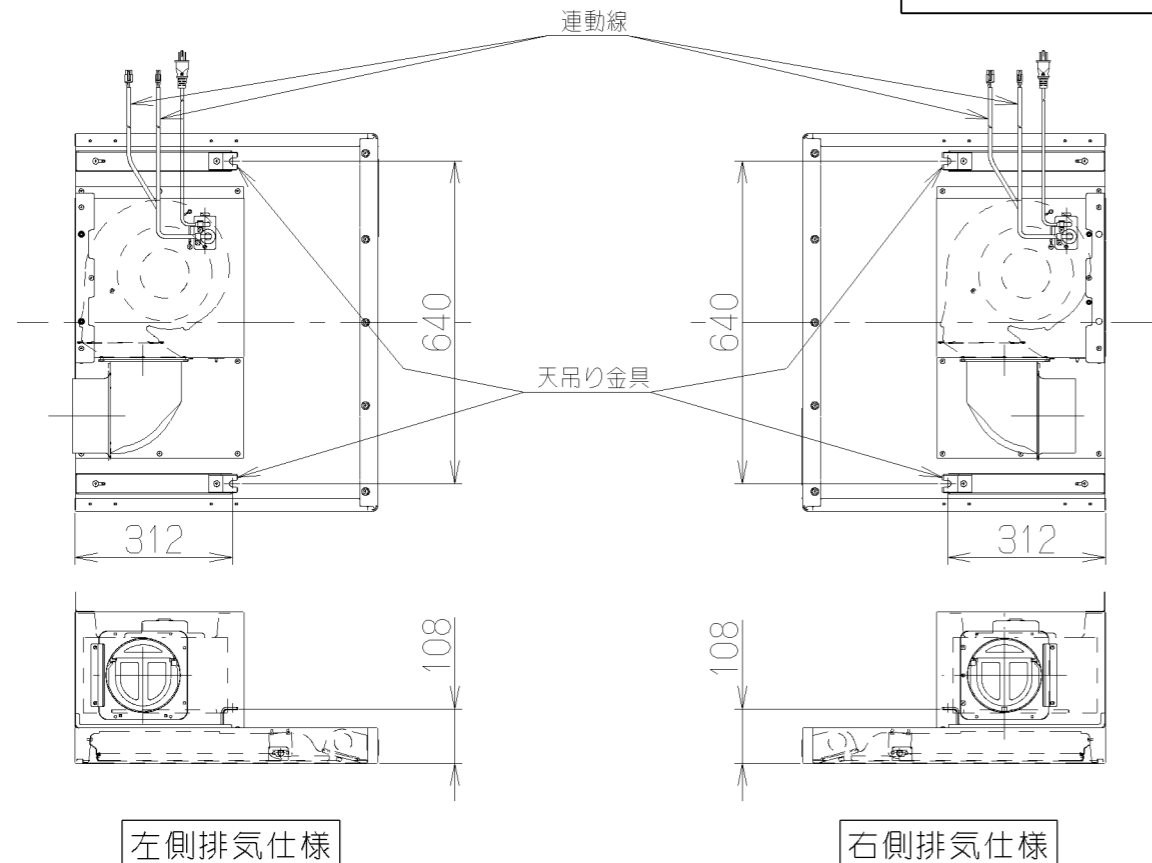
次の部品が取付説明書の付属品に追加されます。

品名	天吊り金具
略図	2個

## ■ 製品寸法図

本製品の製品寸法図は、天吊り金具があること以外は付属の「取付説明書」と同一です。

製品の仕様により、連動線の有無・種類が異なる場合があります。



## ■ 本体の取り付け前準備

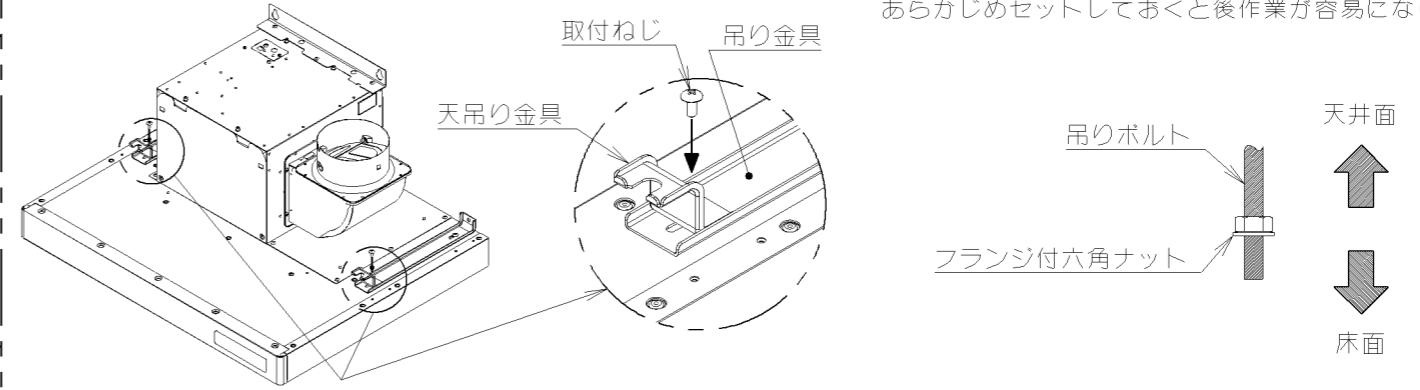
本製品は、本体の取り付け作業前に、次の天吊り用準備が必要となります。

(1) 天吊り金具をフードに取り付けます。

左右の吊り金具前側の取付ねじを外し、  
天吊り金具と一緒に再度取り付けます。

(2) 吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。

吊りボルトの上側のフランジ付六角ナットの位置  
(天吊り金具取り付け位置)は、製品寸法図を参考に  
あらかじめセットしておくことで後作業が容易になります。



## ■ 本体の取り付け

本体の取り付け作業は、次の通り行ってください。

(1) 本体だるま穴用座付ねじ2本をねじ込みます。

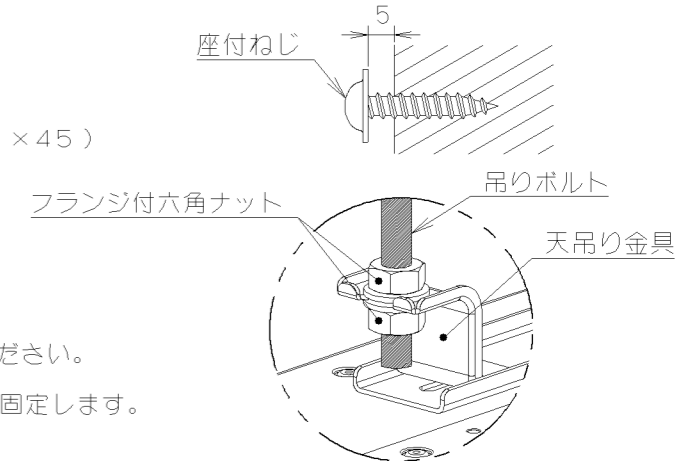
製品寸法図を参照し、だるま穴位置(2ヶ所)に座付ねじ(φ5.1×45)  
2本をねじ込み、壁面との隙間5mmまで締め付けてください。

(2) 本体を引っ掛け固定します。

吊りボルトの先端を天吊り金具に通しながら、座付ねじに本体の  
だるま穴を引っ掛けした後、しっかり締め付けてください。

**お願い** 上方排気・側方排気の場合は、  
ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

(3) フランジ付き六角ナットで天吊り金具をしっかりと締め付けて固定します。



## ■ 電源配線

電源接続方式または給気ダンパー出力方式が端子台仕様の場合、  
配線工事は次の通り行ってください。(電源接続方式が端子台の場合は、コンセントの設置は必要ありません。)

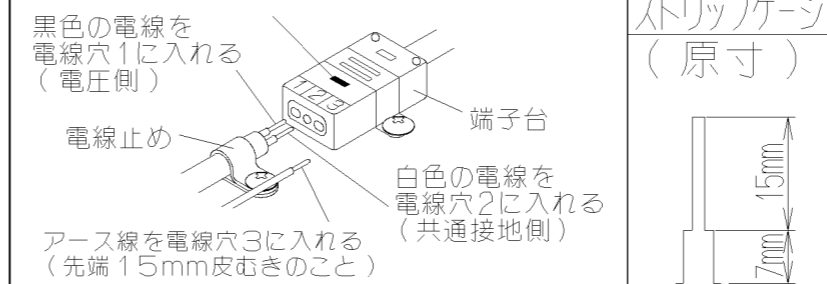
### ご注意

- 必ず分電盤のブレーカーを切って作業してください。切らずに行くと感電やケガのおそれがあります。
- 端子台への接続電線は、VVVFφ1.6~2.0の単線を使用し、より線は使用しないでください。
- 接続を間違えないようにしてください。ショートするおそれがあります。
- 電線挿入時は確実に差し込んでください。挿入が不十分な場合、端子部が過熱し火災のおそれがあります。
- 電線の充電部は必ず絶縁処理をしてください。感電のおそれがあります。
- 必ずアース(D種接地工事)をしてください。
- \*アース線は配線工事側にて手配し、電源端子台の電線穴3に取り付けてください。

### ＜電源用端子の接続方法＞

- 電線被覆2本をストリッパゲージに合わせておく。
- 端子台の電線穴に芯線を2本同時に奥まで差し込む。  
\*下図を参照し、電圧側線と共通接地側線、アース線の  
差込位置をご確認の上差し込んでください。  
\*差し込みが止まるまで挿入して下さい。
- 充電部の露出がないことを確認し、電線止めにて電線を固定する。
- アース線を先端15mm皮むきし、電線穴3に差し込む。

\*電線ははずすときはマイナスドライバーで  
押しながら電線を引き抜く。



### ＜給気ダンパー用端子の接続方法＞

- 電線被覆2本をストリッパゲージに合わせておく。
- 電線穴に芯線を2本同時に奥まで差し込む。  
(表示棒が下がることを確認してください)
- 充電部の露出がないことを確認し、電線止めにて電線を固定する。

\*電線ははずすときはマイナスドライバーなどで  
押しながら電線を引き抜く。

